

五訓
禮規勤自健
儀律勉治康

つちおと



三条市立裏館小学校 学校だより NO.12

(槌音)

令和2年2月27日

裏小っ子の2月：「6年生に感謝」&「給食調理員さんにありがとう！」

～「ありがとう」の気持ちが学校中にあふれています。2/28の「6年生を送る会」を成功させます！～

コロナウィルスへの心配が日本中にあふれていますが、裏館小は「マスク・手洗い・うがい・換気」に十分配慮しながら過ごしています。大勢が集まる機会についても同様です。そういったことに配慮しつつ、気を付けながら「子どもたちを育てる上で大切なこと」をやっていこうと考えています。



【体育館への渡り廊下は「6年生 ありがとう！」で飾られました。26日の音楽朝会は、『OLA』の練習でした。初めてでしたが、みんないい声でした。】



【5年生が、1年生から4年生までをよくリードしていました。児童玄関わきの大階段のところも、6年生への感謝の気持ちでいっぱいになっています！】

～「給食でお世話になっている調理員さんに感謝(2/12)」&「6年生の考えた給食メニュー(2/5)」～



【2/12 若草朝会で給食委員会が中心になって、給食調理員のOさんとIさんに感謝状を渡しました。2/5 給食献立：6年生が家庭科授業で考えました。】

2月の裏館小は、「ありがとう」がいっぱいです。2/5の給食は、2学期に栄養教諭と担任が家庭科授業で「食」について学習した成果でした。栄養バランスと三条の野菜、食べやすさ等を考えて、とてもいい献立になりました。

2/20「学校評議員会」の学習参観・協議 & 「コミュニティ・スクール」スタート



【1年生の図工】



【2年生の合同体育】



【5年生の社会】



【6年生の外国語】

学校評議員の皆様から、5時間目の授業を参観していただき、その後さまざま視点からご意見をいただきました。授業を見られた感想としては「全体的に落ち着いていて、安心して見ていられる授業風景だった」とコメントをいただきました。

授業や学校の行事、地域での様子等からもいくつかコメントをいただきました。



- ① 授業に参加している児童の「姿勢」 ② 挨拶（自分からする子は少ない。この日の学校でも。）

この二つのことが「これからの裏小の課題になる」と考えました。①の姿勢については、「意識しているとよくなるが、平素の授業でどうか」ということとなります。②の挨拶についても、児童玄関前はとってもいいのですが、「地域（登校班）や家庭でどうか」ということとなります。「登校班での挨拶が気になる」という声がありました。街頭指導の保護者の方から、「朝の挨拶をしても返ってこない！」という声も聞かれました。学校でも、家庭でも、地域でも、このことを意識して子どもたちに関わっていただけるとありがたいです。元気な挨拶のあふれる学校、家庭、地域にしていきたいと思います！ご支援をお願いいたします。

次年度令和2年度から、三条学園で「コミュニティ・スクール」が始まります！

先行して実施していた学園も多かったのですが、次年度（令和2年度）から三条学園でも「コミュニティ・スクール」がスタートします。

三条市では、地域の未来を担う子どもの育成を目指し、学校・家庭・地域が連携・協力しながら行う「地域とともにある学校づくり」を推進しています。

子どもの育成に関する様々な課題解決のために、学校・保護者・地域の代表が集まり、「熟議」と「協働」を行う中核なる組織として「学校運営協議会」を設置して推進していきます。

この「学校運営協議会」を設置し、地域と協働する学校を「コミュニティ・スクール」といいます。

「学校運営協議会」とは何か？

これまで学校は、たくさんの保護者・地域の方々から支援・協力いただくことで、子どもの教育を充実させてきました。課題が多様化するこれからの時代を見すえ、学校・家庭・地域がこれまで以上に連携・協力することで、子どもの教育をさらに充実させることができます。そのためには、保護者・地域の方々が学校の要請に応じて協力をする「支援者」から、学校の「パートナー」となり、積極的な「熟議」と「協働」によって、地域の未来を担う子どもたちの育成を一緒に行っていくことが大切です。

その「熟議」と「協働」を行う中核となる組織が「学校運営協議会」です。（本年度まで『三条学園小中一貫教育推進協議会』がありました。それと大きく違わないように進めてまいります。）

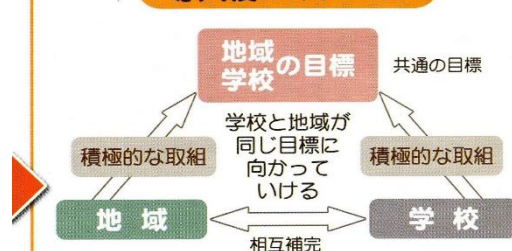
「学校運営協議会」は、学校・保護者・地域の代表などから組織し、学校運営や必要な支援に関する協議、具体的な取組を行います。

★地域の皆様とともに学校をつくっていきます。

お力添えをお願いいたします。

【つちおと：文責 裏館小学校長 小林徹哉】

導入後のイメージ



共通の目標が設定されると、お互いに前向きな姿勢で取り組むことができます。それぞれが主体的に取り組むので成果が上がり、お互いに達成感を味わうことにつながります。